

戸籍の窓

(9月30日現在：敬称略)

□お誕生おめでとう

町名	氏名	保護者
仲町	坂本 柚	(啓輔)
妙堂崎	前田 心都	(卓巨)
あさひ町	眞藤 澄弥	(和美)
胡桃館	佐藤 天音	(貴郁)
山道	工藤 拓	(忍)

■ごめい福を祈ります

町名	死亡者名	年齢
瀬良沢	益滋 正夫	75
山道	渋谷 一仁	56
水筒	越前谷●を	87
野木	浅利 唯一	83
田中町	八木橋勝雄	72
廻環	工藤 孝	78
大性	岸川 定一	93
高瀬川	棟方 清	82
大性	石岡 つと	94
桜町	松山 ツヨ	99
高瀬川	須藤 ヤエ	95
沖	佐々木敏春	77
瀬良沢	成田 武一	80
桜町	駒井恵美子	45

(この欄に載せたくない方は、届ける時に
くらしの窓口まで申し出て下さい)

(人の動き)

9月30日現在 (前月比)

人口	14,619人 (-30人)
男	6,862人 (-17人)
女	7,757人 (-13人)
世帯	5,202 (-3)
出生 6人	転入 9人
婚姻 2組	転出 29人
死亡 16人	

青森県

●鶴田町

社会教育・公民館だより

にぎりまんま かわら版

ことぶき大学で葛西頼之さんが演奏する



△楽しいトークで場内を沸かせる葛西さん

きな拍手を送っていました。

葛西さんは同町の三味線奏者長峰健一さん(妙堂崎)に師事して、高校時代には全国の三味線大会で数々の優勝を飾り、卒業後はプロ奏者としてデビューしました。昨年は自らのCDを発表するなど、津軽を拠点に全国や海外で精力的に活動しています。

9月25日(金)、公民館で第5回ことぶき大学「津軽三味線の演奏と語り」が開催され、鶴田町の若手三味線奏者葛西頼之さん(21歳・みどり町)が演奏を披露しました。

葛西さんの巧みな津軽三味線の演奏と子どもの頃のエピソードを交えた楽しいトークに、受講生は時間を惜しむようにじっと聞き入り、大



△演奏に聞き入る受講生の皆さん

第6回通学合宿「鶴田にぎりまんま塾」から
塾生たちの感想

松山奈央(胡桃館小5年)

初めてのにぎりまんま塾でした。4泊5日は短かったけどいろいろなことがありました。一番楽しかったことは、ジギスカン(レクダンス)を踊ったことです。初めての料理で一番大変だったことはブロッコリーを切ることでした。ブロッコリーを切るときは手を切らないようにがんばりました。最終日の前の日、阿部ちゃん(大学生指導員)に会えなくなるのがさみしくて少し泣きました。



長谷川詩音(高瀬川小5年)

にぎりまんま塾に参加してよかったなあと思います。掃除、洗濯、料理など、お母さんが大変なことがすっごく分かりました。料理のとき、たくさん人がいる中で迷惑をかけないように頑張りました。しょうが焼きを作るときにお肉も切りました。なかなか切れなかったのが大変でした。

安田沙耶香(梅沢小6年)

この5日間を通して、友だちを想うこと、こうしてにぎりまんま塾に入れたことは、親のおかげだということ、にぎりまんま塾がこうしてやっているのは塾長先生を始め、いろいろな人たちが支えてくれたことを知りました。初めは、このことは当たり前だと思っていました。でも当たり前じゃないんだと考えるようになったらたくさんの人に支えられているんだと思いました。今まで見えていなかった世界が見えたような気がします。



松江華理(胡桃館小5年)

にぎりまんま塾での4日間は、いろいろな思い出が詰まった4日間でした。体調が悪くて1日遅れで参加したにぎりまんま塾は、買い物から始まりました。初日いなかったら友だちからいろいろ教えてもらってうまくやっていたかもしれません。学校に通いつつにぎりまんま塾もあったので頭の中がごちゃ混ぜになって、料理や机づくりで何度も失敗しそうになりましたが友だちと頑張りました。このにぎりまんま塾での出来事を生かし明日からもがんばります。



(にぎりまんま塾の様子は12P~13Pでご紹介しています)